

センターだより

きゅと!



令和8年度8月号

四天王寺悲田院児童発達支援センター

子どもたちの目標

「規則的な生活と元気な体づくり」
「意欲的にいろいろなあそびを楽しむ」
「自分のことは自分でする」
「家族以外の人と過ごすことができ、友達と仲良くできる」
「知らない所でもなじむことができる」
「気持ちや感性を適切に表現でき、落ち着いて行動できる」
「自分の意志を伝え、他人の意志を受け止められる」



8月の予定

1日(土) 休園	17日(月) 運営協議会 12:00~
5日(水) 盆踊り 18:30~ ※自由参加	22日(土) 休園
8日(土) 休園	29日(土) 休園 ※園庭開放有
11日(火)~16日(日) 夏季休園	31日(月) 避難訓練(保育棟) 10:20~



お知らせ

○実習生について クラスに入りましたら、よろしくお願いいたします。

7/27(月)~8/ 7(金)	四天王寺大学	(保育士) 3名
8/17(月)~8/28(金)	四天王寺大学	(保育士) 2名

○夏季休園中のご連絡について **なっやすみ** 

8/11~8/16の夏季休園中は、職員は出勤しておりません。休み中のご連絡については、保育アプリ「コドモン」よりご連絡いただきますようお願いいたします。なお、コドモンの確認は職員出勤後の8/17(月)となりますことをご了承ください。

○盆踊りについて



悲田院の全体行事となります。現在、悲田院をご利用頂いている方及びそのご家族のみへの参加案内とさせて頂いております。**自由参加です**ので、開催時間内のご都合の良い時間にお越しください。開催時間内でも屋台の食材や景品がなくなり次第、屋台は終了となりますのでご了承ください。また、職員は出店ブースや警備等の対応を行いますので、お子様への付添等はお家族の方でお願い致します。

詳しくは既に配信しております、盆踊りのお知らせをご覧ください。
暑い時期ではありますが、ご家族お誘いあわせの上ご参加ください。

○園庭プールについて

ぎゅっと7月号にてお知らせしました園庭プールは、8月上旬に設置予定です。そのため、お盆明けより園庭でのプール遊びを開始したいと考えております。

園庭プールは設定保育で使用する際、朝8時より注水し、プール遊び終了まで水を溜めた状態となります。送迎時や園庭開放などで園庭をご利用の際は、十分にご注意ください。

以下の場合、プールに**入れません**。

- ・連絡帳の健康チェック表の「入水チェック」に記入がない場合
- ・水疱がある場合（数に限らず1個でもあれば）、またはびらんがある場合
- ・とびひがある場合
- ・目やにが多く、充血している場合

※詳細は、配信しました「水遊びでの注意について」をご確認ください。



以下の場合、プール遊びを**中止します**。

- ・熱中症警戒アラートが発令されているとき
- ・光化学スモッグ注意報（※注意報以上）が発令されているとき
- ・PM2.5の注意喚起が出ているとき

※上記3点は、園庭遊びや散歩などの「外遊び」全般の判断基準にも適用します。

晴れている場合でも、園庭遊びや園庭プールを中止することがありますのでご了承ください。



指先を使った遊び お家でもしてみませんか？

保育士 畠山



はじめまして、今年度ゆきクラス担任をしております、畠山と申します。日々、保護者の方よりお話をお伺いし、「お箸を使って食べられるようになってほしい」「ボタンを留められるようになってほしい」「鉛筆を3本の指で持つことができるようになってほしい」など、お子さんの成長を願う中で、身の回りのことを少しずつ自分でできるようになってほしいと思われる保護者の方が多いなと感じております。

そのような生活動作の土台となるのが、「指先を使う力」になります。私たちは普段何気なく「つまむ」「はさむ」「ちぎる」「丸める」「押す」といった動作を行っていますが、これらの動作には手指の筋力や巧緻性、目と手の協応、協調動作など、さまざまな力が必要になります。これらの力は、すぐに身に付くものではなく、遊びや日常生活の中で繰り返し経験を積み重ねることで少しずつ育っていきます。指の先を使って、つまんだり、ちぎったり・・・指先を使う力は、食事の道具操作（スプーン・フォーク・お箸）、衣服の着脱（ボタン・ファスナー）、ペンや鉛筆を3本の指で持つ等、日常生活の様々な場面で必要となる大切な力です。また、指先を動かす経験を重ねる事で、集中力や考える力の育ちにも繋がっていきます。

ご家庭でも特別な道具を用意しなくても、遊びやお手伝いを通して楽しく取り組める活動がたくさんあります。今回は、お子さんが楽しみながら取り組める「指先を使った遊び」をご紹介します。



ご家庭でも日常生活の中で楽しく取り組める指先を使う遊び

① つまむ・入れる遊び

ねらい（具体的にこんな動作や力が必要）

- ・巧緻性（こうちせい）や巧緻動作を高める。
- ・目と手の協応（視覚と手の動きを合わせる力）を育てる。
- ・母指・示指・中指を中心とした三指操作の基礎を養い、お箸や鉛筆の操作につながる。
- ・手指の筋力や力加減を調整する力を育てる。

遊びの例

- ・ビーズ遊び・紐通し（小さい物は誤飲に注意）
- ・おままごとにトングなどの道具を取り入れてみる。
- ・洗濯ばさみ遊び



② 生活の中で・お手伝い

ねらい（具体的にこんな動作や力が必要）

- ・日常生活動作につながる手指機能を育てる。
- ・生活場面での繰り返しにより、動作の般化（身に付いた力を日常生活で発揮すること）を促す。
- ・役割を担うことで自己効力感や主体性を育てる。

遊びの例

- ・洗濯物を干す
- ・料理のお手伝い
（葉野菜をちぎる・トマトなどの小さい物の盛り付け・おにぎりをにぎる等）
- ・自動精算機や自動販売機にお金を入れる
- ・おやつを紙コップからつまんで取る。



取り組むときのポイント

- ・お子さんが「やってみたい！」と思えることが大切！まずは、楽しい雰囲気です！保護者の方も楽しみながら一緒にやってみることからはじめてみてください！
- ・できたときは、「できたね」「すごいね」「〇〇ちゃんがつくったの！？」等とたくさん褒めて達成感を感じてもらえるようにしてみてください。
- ・お手伝いのときは、「ありがとう」「助かったよ」と感謝の気持ちを伝えてあげてください！きっと保護者の方からの「ありがとう」の気持ちほど、お子さんにとってうれしいことはないのではないかと思います。

一人ひとりお子さんによって、興味のあることやできることは違います。お子さんの気持ちに寄り添いながら、できることから少しずつ取り組むことで、「楽しい」「できた」気持ちを大切にしていきましょう！そして、できたときは褒めることを忘れずに！

やってみたいけど、どう取り組んだらいいかな？どんなことならうちの子は取り組みやすいだろう？等、気になることがありましたら、いつでも保育職員や療法士に相談してみてくださいね！

